

救急入院センター

1. 概要

救急入院センターは2013年度より設置され、センター長 平松和洋（一般外科兼任）、副センター長 中島基晶（麻酔科兼任）、菅沼伸一（呼吸器内科兼任）で運営し、現在に至っている。当センターはICUに隣接し、ICU適応以外の夜間・休日の救急入院患者の受け皿として機能している。基本的に各科主治医が患者の診療を行い、センターメンバーは主に本センターの管理・運営を主体として活動している。実働病床は2013年以来、継続して12床で運営してきており、救命救急入院料算定件数においては、2013年度は2,713件、2014年度は1,950件、2015年度は1,591件、2016年度1,282件と開設以来3年連続減少傾向にある。2016年4月から2017年3月までの各月の推移は以下のグラフのごとくである。加算の多くは例年通り3日以内で、昨年の統計と比べると今年は7月、2月の真夏と真冬に2回のピークがあった。夏から秋にかけて減少する傾向は変わっていない。月ごとや加算内容に大きな変化はなく、減少は救急患者全体の減少によるものと考えられた。

例年通り本センターの当直体制はセンターのメンバーだけでなく各科部長等にも委託して行い、夜間入院患者の救急処置に当たってきたが、2016年度は特に大きな問題なく経過した。

（センター長 平松 和洋）

2. 活動報告

(1) 年齢別受診患者数

診療科 区分	内科		外科		心臓血管・ 呼吸器外科		脳神経外科		その他		計	
	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)
80歳以上	679	34.1	166	23.2	78	11.3	130	13.8	95	16.8	1,148	23.4
70～79歳	496	24.9	207	28.9	252	36.4	256	27.3	100	17.6	1,311	26.7
60～69歳	368	18.4	135	18.9	168	24.3	234	24.9	133	23.5	1,038	21.2
50～59歳	195	9.8	93	13.0	53	7.7	124	13.2	50	8.8	515	10.5
40～49歳	111	5.6	28	3.9	55	7.9	79	8.4	29	5.1	302	6.2
30～39歳	106	5.3	34	4.7	80	11.6	23	2.4	49	8.6	292	5.9
20～29歳	34	1.7	35	4.9	3	0.4	30	3.2	35	6.2	137	2.8
10～19歳	4	0.2	17	2.4	3	0.4	54	5.8	27	4.8	105	2.1
0～9歳	0	0.0	1	0.1	0	0.0	9	1.0	49	8.6	59	1.2
計	1,993	100	716	100	692	100	939	100	567	100	4,907	100

*集中治療センターも含む

(2) 救命救急入院料算定件数

点数名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
救命救急入院料 (3日以内)	100	73	81	110	80	79	79	75	85	97	90	93	1,042
救命救急入院料 (4日以上7日以内)	3	16	19	15	11	4	11	8	7	9	23	15	141
救命救急入院料 (8日以上14日以内)	4	11	11	0	19	11	7	14	1	2	18	1	99
計	107	100	111	125	110	94	97	97	93	108	131	109	1,282